

## 少人数学級の早期実現を求める意見書

2020年8月25日に開かれた政府の教育再生実行会議において、委員から「少人数学級を進め、30人未満の学級にしてほしい」との意見が出され、これに対する異論や反対意見はなかったと8月25日付「教育新聞」電子版が報じている。

また、文部科学省諮問機関が8月20日に出した「中教審答申案の作成に向けた骨子(案)」では、「『新しい生活様式』を踏まえた身体的距離の確保に向けて、教室等の実態に応じて少人数編成を可能とするなど、新時代の教室環境に応じた指導体制や必要な施設・整備を図る」こと、「国として特別支援学校に備えるべき施設等を定めた設置基準を策定することが求められる」こと等の新たな方向性が示された。

全国知事会・市長会・町村長会も「新しい時代の学びの環境整備に向けた緊急提言」(7月2日)で、今後予想される感染症の再拡大時であっても必要な教育活動を継続し、子どもたちの学びを保障するためには、少人数学級により児童・生徒間の十分な距離を保つことができるよう教員の確保が必要であるとしているなど、少人数学級の実現を求める世論が高まっている。

よって町田市議会は、国に対し、少人数学級の早期実現を求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。